

長崎大学グローバルCOEプログラム
「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」
第3回研究課題報告会

プログラム

日時:平成 21 年 3 月 18, 19 日 16:00-

場所:長崎大学医学部良順会館専斎ホール



第1日目

はじめに

16:00-16:05 山下俊一 (GCOE 拠点リーダー)

セッション

16:05-16:59 座長:中山敏幸 (原研病理)

- 1 Current progress and an update of the molecular epidemiology study of radiation-induced thyroid cancer
Vladimir Saenko (原研国際)
2. Saturation mapping of 7p13 as a candidate region for radiation -induced thyroid cancer.
Tatiana Rogounovitch (原研国際)
3. Mutational analysis of thyroid carcinoma in Serbian patients.
Boban Stanojevic (原研国際)
4. 原研内科における先端移植医療 (臍帯血移植と Haplo-identical 移植)
田口潤 (原研内科)
5. 原子爆弾被爆者における幹細胞のゲノム不安定性の研究
長井一浩 (原研内科)
6. 原爆被爆者における造血異常の解明:最近の知見と今後の展望
岩永正子 (原研内科)

セッション

16:59-17:44 座長:岩永正子 (原研内科)

7. 精神医学的視点からの被爆医療
小澤寛樹 (精神科)

8. 在韓被爆者の精神健康調査について
越本莉香(精神科)
9. ウクライナ・ジトミール州における内部被ばく線量の経時的变化、及び PET-CT に関する臨床疫学研究の概要
林田直美(原研疫学)
10. 原爆被爆者検診を活用した臨床疫学研究～唾液分泌量の客観的評価と被爆線量を含めた関連因子の同定
新川哲子(原研疫学)
11. Radionuclide concentration and dose assessment for food stuffs available in Nagasaki
Gopal Ganapathi Muruganandam Brahmanandhan (原研疫学)

セクション

17:44-18:47 座長:高村昇(原研疫学)

12. 長崎大学の国内外の緊急被ばく医療に対する役割と今後の展望
大津留晶(ヒバクシャ医療センター)
13. 難治性甲状腺癌に対する分子標的・放射線治療の開発臨床研究
熊谷敦史(ヒバクシャ医療センター)
14. 難治性放射線潰瘍に対する自家脂肪組織由来幹細胞移植の開発臨床研究
秋田定伯(形成外科)
15. Correlation analysis between type of 53BP1 expression and BRAF mutation in thyroid papillary carcinoma
Zhanna Mussazhanova(原研病理)
16. Mutation screening of the BRCA1 gene in sporadic breast cancer in Kazakhstan.
Ainur Akilzhanova(原研病理)
17. 長崎被爆者腫瘍組織バンク構築に向けた凍結試料の病理データ
三浦史郎(原研病理)
18. FFPE 標本を用いた乳腺腫瘍の genome-wide copy number/ LOH 解析は有用か?
及川将弘(原研遺伝)

第2日目

セクション

16:00-16:45 座長:鈴木啓司(原研細胞)

1. Radioprotective effect of natural antioxidants against ionizing radiation in human keratinocytes.
松田尚樹(先導生命科学支援センター)
2. ヒト正常線維芽細胞を用いた放射線照射によるゲノム変異の定量化
三嶋博之(原研遺伝)
3. 放射線感受性と p53 の修飾
岡市協生(原研放射)
4. 甲状腺癌の基礎的研究
光武範吏(原研細胞)
5. 甲状腺乳頭癌における癌遺伝子シグナル
松瀬美智子(原研細胞)

セクション V

16:45-17:39

座長:吉浦孝一郎(原研遺伝)

6. 修復 DNA 合成の分子メカニズムの解明
萩 朋男(原研細胞)
7. DNA 二重差切断修復異常による放射線誘発甲状腺がん / 重度免疫不全症等の発症メカニズムの解明
中沢由華(原研細胞)
8. 修復 DNA 合成/細胞内蛋白質局在の新たな解析手法の開発と臨床診断技術への応用
Siripan Limsirichaikul(原研細胞)
9. 放射線生物学基盤研究の新展開
鈴木啓司(原研細胞)
10. ATM-p53 依存的な G1 チェックポイントによる染色体転座をもつ細胞の増殖抑制
山内基弘(原研細胞)
11. 放射線照射後の G2/M チェックポイント誘導に關与する DNA 損傷シグナルの定量的解析
石川 彩(原研細胞)

セクション

17:39-18:24

座長:中島正洋(原研資料室)

12. DNA 二重鎖切断後の ATM 活性化機構の解明
岡 泰由(原研細胞)
13. 放射線誘発非アポトーシス型細胞死の生物学的意義
鈴木正敏(原研細胞)
14. 放射線照射正常ヒト細胞における遅延的酸化ストレスの増加へのミトコンドリアの関与
小橋川新子(原研細胞)
15. 癌間質間相互作用と甲状腺
齊藤巨樹(原研分子)
16. Cre-loxp システムを用いた mutant Braf 発現甲状腺がんマウスモデルの作製
中原麻美(原研分子)

セクション

18:24-19:09

座長:永山雄二(原研分子)

17. 甲状腺濾胞性腫瘍の鑑別診断における 53BP1 蛍光免疫染色の意義
成毛有紀(原研病理)
18. 成熟甲状腺濾胞上皮での放射線感受性について
蔵重智美(原研病理)
19. 子宮頸がん腫瘍進展過程での 53BP1 発現解析
松田勝也(原研病理)
20. 放射線感受性と抗酸化酵素
後藤信治(原研生化)
21. 性ホルモン DHEA はヒト神経膠腫 H4 細胞で Akt シグナルを介して放射線感受性を増加させる
平尾朋仁(原研生化)

最後に

19:09-19:14

山下俊一 (GCOE 拠点リーダー)